

完成したタームホームの壁面



秋田市浜田 グループホームの出入り口

秋田浜田にあたるタームホーム（ソフトホーム）浜田（入所者1人）の出入り口にある灰色の壁が鮮やかに生まれ変わった。近くにある浜田

小学校と秋田公美術大付属高等学校の生徒らが協力、四季折々の風景や大森山動物園の動物などを描き、見るの目を楽しませている。

四季の風景や動物など

鮮やかな壁画楽しんで



齋藤さんによれば、梅の花やこけしを扱った福

浜田小、秋田美大付高コラボ

穂といった季節に関する絵をはじめ、浜田地区にある大森山動物園の動物や観音さまなど見た人が楽しくなるような題材や色合いを意識したという。同学院の1、2年生延べ約30人が参加し、9月25日（10月1日）の2日間、作業を行った。チョークで下書きをした後、水色や黒色、ピンク色のペンキを塗っていった。多くの所有者が生徒が絵を描く様子を眺めていた。

参加した同学院1年の一関穂さまは16日「近くで見ても遠くから見てもきれいに見えるよう、齋藤さんのデザインを基に、壁画作成に取り組み秋田美大付属高等学校の生徒



壁面向かいにある石垣には、浜田小の全校児童が架空の動物を描いた

「かわいいと思う」と語り、このほか、8月には壁面間かきにある石垣一つに、浜田の全校児童43人がそれぞれ考えた架空の動物を描いた。今後も新入生が入学するたび、石垣に新たな動物を描いてもらう交流を続けていく予定。（大谷好恵）